

中電病院「助産外来」の開設について

当社中電病院(院長:岩森 洋)は、8月25日から「助産外来※1」を開設することとしましたのでお知らせします。

近年、産科医不足が深刻な社会問題となっている中で、「助産外来」に対するニーズは高まっており、当院内に「助産外来」を開設することで、妊娠中および出産後の女性(以下、妊産婦)とその家族が安心できる出産環境を提供するとともに、産科医師の負担軽減および助産師の活躍の場の拡大を図ることができます。

「助産外来」では、妊産婦の健康状態を正しく把握し、妊産婦が安心して分娩に臨めるよう支援させていただくとともに、産科医師と協力することにより、妊産婦への診療を一層充実させるように取り組んでまいります。

【助産外来の概要】

1. 診察内容

中電病院の外来産婦人科内において、助産師が外来の妊産婦に対して妊娠期の健康診断、妊娠期と産褥(さんじょく)期 ※2の保健指導等の助産ケアを行います。

・妊娠期の健康診断

尿検査、体重測定、血圧測定、問診、超音波検査 等

・妊娠期と産褥期の保健指導

出産・育児準備、生活指導、食事指導、体重管理指導、パースプラン(出産計画) 等

2. 開設日時

平成21年8月25日(火)13時00分から診察を開始します。

3. 予約申込手続き

「助産外来」の対応時間帯は、毎週火曜日・木曜日の13時～16時としており、完全予約制となっています。

なお、受診にあたっては、まず中電病院の産科医師の診断が必要となります。

※1 「助産外来」とは、産科医ではなく助産師が正常な妊娠経過をたどっている妊産婦を対象に保健指導等の助産ケアを行う外来です。助産師が「助産外来」を希望する妊産婦や家族とともに出産計画を練っていき、より時間をかけてコミュニケーションをとりながら安心できるお産を提供していく観点から開設するものです。

※2 産褥期とは、分娩が終わってから、母体が回復して妊娠前の状態に戻るまでの期間(通常、産後6～8週間)のことをいいます。

以上

関連リンク

[中電病院](#)